

### CONTENTS / 目次

- 2 寺井中学校女子ハンドボール部準優勝
- 3 市民と市政の歩み
  - ・ KUTANism 開幕
  - ・ 観光大使・特使の委嘱状伝達式が行われました
  - ・ 東大生、国造ゆずの可能性を探る など
- 5 農業委員および農地利用最適化推進委員を募集します
- 6 平成30年度決算 能美市の財政状況
- 8 市役所からのお知らせ
  - ・ 任意予防接種の費用助成について
  - ・ 祖父母教室「孫まご教室」
  - ・ 3歳6か月児健診視力検査屈折異常の検査を追加
  - ・ 高齢者のインフルエンザ予防接種
  - ・ 能美市U・I・Jターン就職家賃補助制度
  - ・ 消火器の廃棄方法について
  - ・ 運動と睡眠の関係を検証するモニター募集
  - ・ ファミリー・サポート・センター協力会員子育て応援ヘルパー養成講座（後期） など
- 13 情報ひろば
- 17 主要行事・イベント実施予定
- 18 博物館建設進行中  
今月の手話
- 19 いしかわ動物園に行こう！  
みんなの図書館
- 20 まちのできごと
- 23 九谷焼の世界に触れる
- 24 わたしとこの町
- 26 子育てに関する情報
- 27 相談・国際交流・ご寄附
- 28 イベント情報  
のみ検定「過去問に挑戦！」

### NEWS

## 寺井中学校女子ハンドボール部が全国大会で準優勝に輝きました！

8月20日から23日にかけて兵庫県で開かれた第48回全国中学校ハンドボール大会で、寺井中学校女子ハンドボール部が銀メダルを獲得しました。

8月26日、部員20名が能美市役所を訪れ、井出市長と谷口教育長に大会の結果を報告しました。部員らは「どの試合も厳しかったけれど、最後は笑顔で終わることができて良かった」「みんなの応援する声が聞こえてきたから頑張れた」と大会を振り返りました。主将を務めた徳久菜月さん（3年）は「チームメイトや周りの方々のおかげでキャプテンとしての自覚を持ち成長することができた。最後は部員全員が力を合わせた試合をすることができて良かった」と笑顔を見せました。



「2位」を記念しメダルを身につけ全員でピースサイン

## 九谷焼産地の総合芸術祭 クタニズム開幕

能美・小松両市が共同開催する産地の総合芸術祭「KUTANism」が9月6日から始まりました。

メインとなる展覧会は、能美市立九谷焼美術館（浅蔵五十吉美術館）と小松市の九谷セラミック・ラボラトリーで開かれ、「九谷の現在」をテーマとしています。九谷焼美術館では、名工選「NEXT九谷」展と題し、九谷焼の伝統や技術を継承しながら新たな価値創造に挑む作家43名の作品が展示されました。九谷陶芸村では、10月5日までの毎週土曜日、公立小松大学



開会のセレモニーでは東京藝術大学大学美術館館長・教授の秋元雄史さんがあいさつされました。



九谷焼の歴史や製作工程を参加者に説明する学生ボランティア  
各種メディアでも取り上げられました。（写真は中矢館長の解説を聞くぶんぶんボウルのまーしさんとよしげさん）

の学生がボランティアを務める「九谷さんぽ」が始まりました。初日である7日は、学生ボランティアが陶芸村内の見どころや九谷焼の製作工程などを参加者に説明しました。9月15日にはこまつ芸術劇場うららでシンポジウム「KUTANism」と加賀國1200年」を開催し、九谷焼作家や関係者が九谷焼の今後について展望しました。クタニズムは10月14日まで開催しています。詳しくはクタニズムのホームページをご覧ください。

## 様々なフィールドから能美市をPR 観光大使・特使の委嘱状伝達式が行われました

8月24日、辰口まつりの会場で、ブラジル音楽家の加々美淳さんと名古屋フィルハーモニー交響楽団の首席ホルン奏者安土真弓さんへの能美市観光大使委嘱状伝達式が行われました。お二人の就任期間は今年5月から3年間で、様々な場面で能美市のPRにご協力いただきます。



当日はお二人への委嘱状伝達式にあわせ、バレエダンサーの山本雅也さん、NEXT O 中日本代表取締役の増田優一さん、まつりの司会を務めた文化放送ラジオパーソナリティの小林奈々絵さん、歌謡ショーでまつりを盛り上げてくださった歌手北野まちなさんにもステージに上がっていただき、観光大使・特使として会場の皆さんにご紹介しました。

大使・特使の方々が「能美市のPRに努めたい」と能美市とのつながりやPR活動への意気込みを語り、会場からは大きな拍手と歓声が上がりました。

前列左から
小林 奈々絵さん（観光大使）
北野 まちなさん（観光大使）
安土 真弓さん（観光大使）
後列左から
山本 雅也さん（観光大使）
加々美 淳さん（観光大使）
増田 優一さん（観光特使）

# 農業委員および農地利用最適化推進委員を募集します

能美市農業委員会では、現農業委員および農地利用最適化推進委員の任期が、令和2年3月31日に満了することから「農業委員会法」等に基づき、次のとおり次期委員を募集します。

種類	農業委員	農地利用最適化推進委員
対象者	農業に関する見識を有し、農地の利用の最適化に関する事項、その他農業委員会所掌に属する事項に関し職務を適切に行うことができる者	農地利用最適化の推進に熱意と見識を有する者で、担当地区内において、担い手への農地の集積や遊休農地の発生防止・解消等の活動ができる者
定数	14人	12人
任期	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで	委嘱の日から令和5年3月31日まで
報酬	基本分……月額 1万2,000円 上乗せ分……月額 2万円以内（活動実績・成果実績に応じて交付）	基本分……月額 9,000円 上乗せ分……月額 2万円以内（活動実績・成果実績に応じて交付）
選任方法	能美市議会の同意を得て能美市長が任命します。 ※ただし、法律の規定等により、選考にあたっては次のような条件があります。 ①認定農業者が過半を占めなければなりません。 ②農業委員会の所掌する事務について利害のない人を含まなければなりません。 ③女性や青年登用について配慮しなければなりません。 ※定数を超過した場合は、能美市農業委員候補者評価委員会の意見を考慮して、候補者を選考します。	能美市農業委員会が委嘱します。 ※選考にあたっては、別表1のとおり担当地区により募集します。 ※農業委員と両方に応募できますが、兼務することはできません。 ※定数を超過した場合は、能美市農業委員候補者評価委員会の意見を考慮して、候補者を選考します。
役割	①農地の権利移動、農地転用の許可、決定等の審査のため、委員会の会議に出席 ②実質化された人・農地プランに係る活動、遊休農地の発生防止・解消の推進、担い手への農地の集積の推進、新規就農の支援をするための活動、指針の作成等 ③農地中間管理機構等との連携	農業委員とほぼ同様の役割を担っていただきますが、総会での議決権がありません。

## 応募方法

自薦、または他薦とします。（応募・推薦方法の詳細は11月1日以降に市ホームページに掲載）

## 応募受付期間

11月1日（金）から11月29日（金）まで（郵送の場合は必着）

## 公表について

応募者の状況は、11月15日ごろから市ホームページで公表します。公表内容は、推薦を受けた者および応募した者の数とします。

## 推薦書および応募申込書提出先（問い合わせ先）

〒923-1198 能美市寺井町3番5号  
能美市役所寺井分室内  
能美市農業委員会事務局あて  
☎58-2256、☎58-2297

## （別表1）

地区名	農地利用最適化推進委員担当地区
1	高坂・根上、下ノ江、浜開発、大成、福島
2	吉原釜屋、大浜、中、浜、道林、山口
3	吉原、赤井、西任田
4	五間堂、中庄、福岡、西二口、中ノ江
5	末寺、秋常、新保、粟生、三道山、吉光、東任田
6	寺井、末信、湯谷、石子
7	小長野、大長野、小杉、牛島、佐野、泉台
8	和佐谷、岩本、灯台笹、大口、宮竹
9	三ツ口、長滝、筋生、岩内
10	火釜、来丸、山田、三ツ屋、倉重、出口、辰口、湯屋、上徳山、下徳山、緑が丘
11	上開発、下開発、徳久、荒屋、高座、下清水、上清水、北市
12	和気、寺島、館、金剛寺、坪野、鍋谷、仏大寺

## 子育て支援のために寄附 岩田さんに感謝状

市内保育園の充実費として岩田匡弘さん（末寺町）から市に60万円の寄附をいただき、8月28日、市役所で感謝状贈呈式が行われました。岩田さんは「子どもたちに直結するようなことに使っていたければ」と話し、井出市長は「子どもたちや先生方の意見を聞きながら大切に使用させていただきます」と感謝状を贈りました。



岩田さんからは、平成29年と平成30年にも60万円ずつ寄附をいただいています。

## 東日本大震災の被災体験や教訓を伝承

9月7日、能美市防災センターで消防庁「災害伝承10年プロジェクト」事業として語り部の武蔵野美和さん（岩手県陸前高田市）が被災体験を語りました。来場者には「今、命を守るとしたら、自分だったら何ができるのかを考えてほしい」と呼び掛けました。また、普段から身につけることができ、災害時には抱っこひもや避難所等で衣類をかけるロープなどにも使うことができる強度がある紐「パラコード」で作るブレスレットの編み方の指導もありました。



自身の被災体験について話す武蔵野さん（写真右）  
パラコードでブレスレットを作る参加者（写真左）

## 東大生、国造ゆずの可能性を探る

9月3日から22日にかけて、東京大学生2名が能美市を訪れ現地活動を行いました。学生は、2019年度東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラムの一環で、市が提案したテーマ「中山間地域における地域資源の国造ゆず等農産物を活かした地域内外在住者の縁づくり推進に係る具体的施策の提案」を行うために、今回来市しました。取りまとめた提案は、2月下旬ごろに報告される予定です。



11月の国造ゆず祭りにも来場し活動を行う予定です。

## お笑いステージ「笑って脳トレ」開催

介護予防の普及啓発として、よしもと住みます芸人三組によるお笑いステージが開催されました。9月13日、落語家の月亭方気さんが小咄などを披露し、来場者を楽しませました。9月10日は辰口福祉会館でぶんぼうが、26日は寺井老人福祉センターで亀齢荘でフィッシュ&チップスが漫才を披露しました。



健康にちなんだお話を、とんちがきいた小咄に会場では何度も笑い拍手が起こりました。